



VOLUNTEER  
FIRE  
FIGHTERS  
飯豊町消防団

飯豊町消防団広報紙 Vol.4

# きずな

## 飯豊町消防団長 田辺 隆

町民の皆様には、消防団に対しましてご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

消防団活性化の取り組みの中に独身団員を対象とした婚活、法被でハッピー「ポンプ・コン」を開催しております。報告ですが第1号の結婚者がありました。一昨年のポンプ・コン2に参加した団員が昨年入籍したことの報告を受けました。大変うれしく思います。これからも独身団員の皆さんには積極的に参加してカップルを作り結婚まで進んでいただきたいと思います。いずれは当町における人口増加および消防団の活性化に繋がってくると考えます。

一昨年度は、消防団にとって画期的な新法ができました。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が議員立法により平成25年12月13日に制定になりました。近年東日本大震災という未曾有の大災害をはじめ地震・局地的な豪雨・火山噴火などの災害が各地で頻発し住民の生命身体および財産を災害から守るために地域防災力の重要性が増大する一方で少子、高齢化などで消防団の担い手を十分に確保することが困難になっていることに鑑み、この新法により国、および地方公共団体の責務などを明らかにするとともに、消防団の充実強化を図り住民の安全を確保することを目的としています。その中の第8条に「消防団の強化」があります。消防団が将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在であることに鑑み、消防団の抜本的な強化を図るため国・地方公共団体が必要な措置を講ずるものとする。そのほか「消防団への加入促進」「消防団員の処遇改善」「消防団員の装備の改善」などに対し国、県、町が必要な措置を講ずるものとするという法律です。飯豊町消防団においては、装備の改善は現在実施中で処遇改善については現在要求中です。一歩一歩ではありますが改善に向けて進んでおります。

消防団員は、「自分の地域は自分たちで守る」といった郷土愛護の精神を持ち、活動しておりますが、この消防団等充実強化法を基に、誇りを持って生き生きと活動できる環境づくりを進めて行くことも重要であり進めて行かなければならないと考えております。

◆編集・発行／飯豊町消防団広報編集委員会（飯豊分署内） ☎7212340

## 大切な人を守る 大切なまちを守る

# 団員 募集

消防団は、自分の仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちが守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域防災活動のリーダーとして活躍するとともに、幅広いコミュニティ活動を通じて、地域振興の維持増進にも中心的な役割を果たしています。

地域の皆さんとのふれあいを大切にした消防団活動は、安心・安全なまちづくりの実現に欠かせないものです。まちを愛する一人ひとりの力を結集すれば、地域の安全は確かなものになります。

だからこそ、あなたの力が必要です。消防団への入団を待っています。

## 消防団の活動って？ 消防団の活動は消火ではありません

消防団は、火災や災害時に自宅や職場から駆けつけ、日頃の訓練と地域住民としての経験を生かして消火・救助活動などを行う、非常勤特別職の地方公務員です。

飯豊町の消防団員数は412名。地域の消防防災リーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、皆さんの安心と安全を守るという重要な役割を担っています。近年は女性消防団員も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

- 災害時
- 教育訓練
- 火災予防広報活動

災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎなど様々な現場で活躍しています。

複雑多様化する災害や救急業務、火災予防業務の高度化に消防団員が適切に対応するためには、その知識、技能の向上が不可欠です。一般団員を対象とした研修会や訓練に加え、階級に応じた教育訓練などを受講します。

災害発生時以外にも、消防団では幅広い活動を行っています。予防消防活動です。地域を消防車両で巡回しての防災広報活動や住宅への防火指導などに従事しています。



◆入団に関するお問い合わせ先  
西置賜行政組合消防署飯豊分署 ☎72-2340 飯豊町役場総務企画課情報防災室 ☎87-0522



## 本部分団

- 分団長 : 舟山 純也
- 副分団長 : 井上 雄俊
- 分団員数 : 41名



本部分団の自慢は、県内でも数少ない音楽隊（本部分団第1部第2班）があることです。音楽隊は、県内では山形、鶴岡、寒河江各消防本部に設置されておりますが、音楽隊全員が消防団員で構成されているのは唯一飯豊町消防団だけです。全国的に見ても珍しい存在です。そのため、町内の消防行事以外にも、西置賜支部操法大会やめざみの里まつりなどの各種イベントに参加し、音楽による防火・防災意識の高揚を図っています。昨年11月には町の収穫祭にも出演し、飯豊中学校吹奏楽部とのコラボレーションも行いました。

飯豊町は「音楽からのまちづくり」をテーマに、賑わいのある文化的かつ創造的な町づくりを目指しています。私たち音楽隊がさまざまな場面で少しでもまちづくりに貢献できるよう、また、演奏活動によって地域の安全・安心が守られるよう、精一杯活動していきたいと思います。

## 第二分団

- 担当地区 : 黒沢・椿
- 分団長 : 渡部 信義
- 副分団長 : 後藤 康則
- 分団員数 : 71名



一昨年になりますが、西置賜支部操法大会において小型積載車の部で最優秀賞を勝ち取ったことです。私たち消防団は、有事への対応として日頃から訓練を行っていますが、大会となればより一層の訓練に励んでいます。選手団員には、仕事と訓練の両立で大変苦勞をかけていますが、その苦勞が実ったことに、私たち一同はとても喜んでます。操法は火災の際に要になる活動です。今後も消防団としての役割を果たせるように、訓練に励んでいきたいと思っています。

もう一つ、私たち第二分団は独身の元気な団員がたくさんいるのが自慢です。消防団で開催しているポンプ婚に、自慢の団員が参加しますので、よろしくお願いします。飯豊町の安全・安心を守る消防団として一生懸命に努めますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 第四分団

- 担当地区 : 小白川・手ノ子・高峰
- 分団長 : 横山 清彦
- 副分団長 : 小関 貴典
- 分団員数 : 101名



伝統行事として、年度初めに「頭渡しの儀」を行っています。頭渡しとは分団の会計当番を引き継ぎすることです。当分団は6部編成のため、2部ごとに当番を割り当て、前年度当番と新年度当番、仲人の3役で引き継ぎを行います。町長や団長などにご臨席いただき、静穏の中にも凜としたものを感じるものです。今では当分団だけの行事となりましたが、先輩方が築き上げてきた伝統を守り後世に残していきたいと思っています。

もう一つ、平成11年に三部がCDを発売しました。消防活動のエピソードを歌にしたもので、タイトルは「大変なサダ音頭」です。テレビ・ラジオ・有線放送で連日流れていた記憶は新しく、団員が作詞・作曲、ボーカルまで務めた功績はほかの消防団員に夢と活力を与え、自分も同じ分団所属に誇りと感動を覚えた記憶があります。

地域の方が安全に安心して生活できるよう、予防消防、啓発活動に取り組んで参ります。

## 第一分団

- 担当地区 : 中・萩生
- 分団長 : 冨永 俊博
- 副分団長 : 渡部 一弘
- 分団員数 : 89名



第一分団では、元消防団の手塚與右衛門さんが、長年にわたり従事されておられた消防団活動において優れた功績を挙げられ、瑞宝単光章を受章されましたことをご紹介します。

昭和44年に消防団に入団され、以来33年の長きにわたり消防団員を努められました。最高幹部として平成8年から11年の4年間を第一分団長として、平成12年から14年の3年間を本部分団長として任務を遂行されました。とても素晴らしい賞を受章されたことは地元分団として誇りに思います。

私たち消防団は地域住民の生命と財産を守る使命のもと、積極的に消防団の行事・各種訓練、町の行事などに参加しています。月1回の車両点検、月2回の巡回を行っています。有事の際には、迅速に現場に駆けつけ、冷静に判断し機敏な活動で被害を最小限にするように取り組んでいます。ご声援よろしくお願ひします。

## 第三分団

- 担当地区 : 添川・松原
- 分団長 : 二瓶 広和
- 副分団長 : 鈴木 幸則
- 分団員数 : 66名



第三分団は東部地区で消防活動を行っています。ほとんどの集落には自主防災組織が結成されており、私たちと連携しながら、災害・火災の訓練を行っています。

平成27年2月には、現場指揮課程の1期生として消防学校での3日間の研修や、町内での機関員講習や普通救命救急などの各種講習会への参加、分団独自でポンプ車に装備のチェーンソー講習などを開催するなど、積極的に技術向上に努めています。

その成果は町操法大会でも発揮され、積載車と軽積載車の部で支部大会に出場しました。また、消防・救命の意識の高さから、団員が火災の第一通報者になったり、通勤時に道路でうずくまっている方を救助・通報するなど、模範となるような活躍も見受けられます。災害はいつ発生するかわかりません、だからこそ日ごろの訓練をしっかりと行うことが最大の防御（安心）になるのではないのでしょうか。「安全・安心・格好いい第三分団」でありたいと思います。

## 第五分団

- 担当地区 : 中津川
- 分団長 : 伊藤 幸雄
- 副分団長 : 安部 貴志
- 分団員数 : 27名



当分団からは、第一部第二班長の竹村吉助班長の除雪についてご紹介いたします。

20年以上にわたり消防団員として活躍している竹村班長は、冬期間、降雪状況に応じて消火栓などの除雪を適宜行っています。中津川地区内で自営業を営んでいることもあり、早朝もしくは夕方以降に時間を見つけては実施しています。降雪時の有事の際には頼もしい限りです。

除雪後の状態もきれいで、中津川地区内においては「竹村班長が除雪を行ってくれた」と、見てわかるほど有名です。飯豊町消防団としてもここまで自ら責任を持って除雪を行ってくれる団員はほかにいないのではないかと思います。

来期からは第五分団第一部長として、飯豊町（中津川）の安全・安心の確保に向けた、ますますの活躍を期待しています。